



埼玉県写真館協会令和元年度 コンテストで埼玉県知事賞を受賞

岡田 純哉さん(行田・29歳)

昨年6月に埼玉県写真館協会が開催した「埼玉県写真館協会令和元年度コンテスト」で、見事、最優秀賞に当たる県知事賞を受賞した岡田純哉さんを紹介いたします。

地域の人に親しまれていて写真館に生まれた岡田さんは、中学生のころから自然と家業を継ぐことを意識し始め、大学では本格的にカメラや写真について学びます。卒業制作では優秀作品として選抜展示に飾られるほどの腕前でしたが、決してそれに満足することなく、大学卒業後は修業を兼ねて県内の写真館に勤めます。そ



ここでは、カメラマンの他、店の受付やアシスタントなども行いました。基本的な撮影方法などは教わるものの、大半は先輩方が撮った写真を見て学ぶ日々を送っていたそうです。

そして、約3年間の修業を終えた岡田さんは、平成28年4月、実家の写真館「フォトステーション」のプロカメラマンとして任されるようになり。仕事柄、人物写真を多く撮ることから、そのポイントを尋ねると、「光の加減や構図は大切ですが、その人の一瞬の魅力的な表情を撮るには相手とのコミュニケーションが欠かせません」との答えが返ってきました。今回、県知事賞に輝いた作品は、ウェディングフォト。撮影場所は、新郎新婦が着る和装に合う忍城を選びました。手の仕草や視線などを細かく指示しつつも、自然な笑顔を引き出し、仲睦まじい様子を撮ったそうです。

「写真は友人・家族・恋人とのかけがえのない思い出や幸せの瞬間を形として残すことができます。年を増すごとに、その時々思い出を振り返ることができる宝物となるような写真を今後も撮り続けていきたいですね」と笑顔で意気込みを語る岡田さん。これからも、多くの人々の未来に生き続ける写真をカメラに収めていくつもりです。

イベント

介護者教室

▼日時 3月13日(金)午後1時30分～3時 ▼場所 中央公民館 第1学習室 ▼内容 高齢者が在宅で安心して暮らしているよう、介護の知識や技術のこつなどを学ぶ。▼対象 現に介護している方、介護について関心のある方 ▼定員 20人(先着順) ▼参加無料 ▼持ち物 筆記用具、飲み物 ▼申・圃 3月10日までに電話で地域包括

支援センター緑風苑 ☎5571-3611 ▼この記事に関する問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

第4回税に関する絵はがきコンクール作品展示

▼期間 3月11日(水)～13日(金) ▼場所 商工センターパブリックホール ▼内容 公益社団法人行田法人会主催の「第4回税に関する絵はがきコンクール」で入選した作品および市内の小・学6年生の応募作品の展示 ▼申 同会 ☎5541-4535

第10回 Theatre Vert 行田絵手紙あそび会作品展

▼期間 2月28日(金)～3月18日(水) ※木曜休館 ▼時間 午前11時～午後4時 ▼場所 旧忍町信用組合店舗内 ▼内容 行田絵手紙あそび会会員の絵手紙展 ▼入館無料 ▼圃 文化財保護課(内線5322)

高崎線沿線のまちづくりを考えるin行田

▼日時 3月13日(金)午後1時30分～4時(午後1時10分から受け付け) ▼場所 コミュニティセンターみずしるギャラリイ ▼テーマ 「じぶんのまちで楽しく暮らすヒント」深谷・熊谷・行田・鴻巣・北本〜 ▼内容 「まちを元気にしたい」という思いを抱き、地域で活動している共助仕掛人(※)が事例発表をします。意見交換会を含めた交流会も実施します。※共助仕掛人とは、県の専門家ボランティアに登録されている市民活動のコーディネーターです。 ▼定員 30人 ▼参加無料 ▼共催 市民活動サポートセンター、県共助社会づくり課 ▼

私の作品

俳句

城西 榊原しずか
煮大根歳月という調味料
佐間 須永 節子
はや米寿まだ米寿だと去年今年
藤原町 齋藤雄次郎
澤走る冬あけぼのの英虞の海
忍 伊藤 誠一
充分に生きて昭和の枯芒
富士見町 森 節子
田作りはスマホじゃ出せぬ母の味
矢場 高田みつ子
何ひとつ隔つものなし大枯野
持田 二瓶 弘子
寄せ鍋に奉行はいらぬ好きにせよ
富士見町 鈴木スイ子
初日さす特別史跡古墳群
埼玉 岡本 喜水
弾むジャズ窓の冬木も揺れてをり
南河原 今村 文女
居るはずもなき夫と酌む夢はじめ
富士見町 江利川敏夫
西の市売り手買い手の心意気
旭町 大川 恵子
しらじらと明ける水面に鴨の群
天満 青柳 欣吾
卒寿過ぎ二つで足りぬ雑煮餅
荒木 野口 利夫
大北風や百余の果実落としゆく
埼玉 荻原 増夫
縁側の猫と無言の日向ぼこ
下忍 荒井 王子
登校の列を乱して霜柱
谷郷 江利川栄一
裸電球昭和のままの西の市
齋条 小林 英与
麦の芽のひと雨ごとに遅しく
(三沢 一水 選)

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月5日までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

申・圃 電話またはFAX、Eメールのいずれかの方法で市民活動サポートセンター ☎5981-8616 (FAX兼用) ※

日・水曜日を除く午前9時～午後5時【Eメール】gyodashi.saposen@bz04.plata.or.jp

第26回ふれあいまつり

▼日時 3月7日(土)午後0時30分～4時30分、8日(日)午前9時30分～午後4時 ▼場所 地域交流センター ▼内容 「7日」作品展示、健康マージャン教室他【8日】作品展示、芸能発表、お茶会、健康チェック、ゲーム、焼きそば・豚汁などの飲食コーナー他 ▼主催 同センターふれあいまつり実行委員会 ▼圃 同センター ☎5591-1399

総合公園の清掃活動

▼日時 2月15日(土)午前9時～10時(午前8時45分集合) ※雨天中止 ▼集合場所 総合公園管理棟前 ▼内容 総合公園を愛着のある公園にするため、ボランティア清掃活動を行う。

▼持ち物 清掃用の手袋、ごみ袋 ▼その他 清掃活動を中止する場合は前日に判断し、ホームページおよび市公式ツイッターで周知します。 ▼圃 行田のまちを「ゴミ」委員会事務局(管理課内・内線5703、都市計画課内・内線5604)



第2回えんむすび親の会

▼日時 2月23日(日)午後1時30分～3時30分 ▼場所 VIV Aぎょうだ学習室 ▼内容 子どもを結婚させたいとお考えの親または家族のためのお茶会および相談会 ▼参加費 1千円 ▼その他 一世帯何人でも参加可 ▼申・圃 2月18日(火)までにEメールでNPO法人行田結婚支援センター ☎090-3131-8356または ☎090-2416-9692 【Eメール】gyoda.kettkon.shienn@gmail.com

行田みらい塾成果発表会 「行田みらいフォーラム2020」

行田みらい塾は、日本遺産を活用した観光振興や地域ビジネス創出など、地域の活性化を担う人材育成を目的として、2018年7月にスタートしました。

この第2期生らによる成果発表会「行田みらいフォーラム2020」を開催します。

▶日時 2月15日(土)午後2時
▶場所 商工センターホール
▶内容 塾生がこれまで学んだことを生かして、グループに分かれ行田の活性化をテーマに発表します。
▶問い合わせ 行田市日本遺産推進協議会(企画政策課内・内線309)